

思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり

～ICT 機器の積極的な活用を通して～

【資質・能力：思考力・表現力・主体性・協調性】

研究授業の振り返り～第1弾～

10月より授業研修が開始し、さっそく英語科の研究授業に取り組んでいただきました。授業された井出先生、大変ありがとうございました。事後の研究協議でいただいたご意見の一部を紹介します。

【10月1日(金) 2年2組 1枚時】

【ICT 活用のポイント】

- ①フォームでの英訳・和訳の単語テスト
- ②ドキュメントでの音声入力
- ③ドキュメントでの復習問題



①フォームでの英訳・和訳の単語テスト

- ⇒ 知識・技能を定着させるしくみが確立されていた。
- ⇒ クロームブックの操作に時間がかかる生徒への個別の支援がきちんとされていた。

②ドキュメントでの音声入力

- ⇒ 生徒が主体的に音声活動に取り組んでいた。
- ⇒ 生徒が英文を読みやすいようにワークシートに工夫がされていた。

③ドキュメントでの復習問題

- ⇒ 生徒が集中して英文入力を行っていた。プリントならやる気のない生徒も一生懸命に英語を入力していた。
- ⇒ 終わったら生徒に提出させることで評価につなげるようになっていた。

<全体を通して>

- 1つ1つの活動が、システムティックで生徒も授業のおおまかな流れを把握しており、リピートする声やテンポがよかった。
- 授業がテンポよく進み、生徒がその速さについて行けている。日頃の授業の取組が見える。
- ペア活動がスムーズで、ペア活動がしやすいように席の配置にまで配慮がされている。
- ペア活動で使うワークシートに、生徒が楽しめるような要素が盛り込まれている。
- とにかく生徒が英語を話している時間が多い。
コミュニケーションの基本であり素晴らしい。
- 最後のドキュメントでの復習問題はペーパーで渡すほうが生徒も慣れているため、たくさん問題が解けるのではないか。
- クロームブックの操作に時間がかかる。
- 書く活動の時間の確保をどうするか。
- クロームブックを使う意義・どこでどう使うかを考える必要がある。



研究授業の振り返り～第2弾～

今月は2教科で研究授業に取り組んでいただきました。授業された岡本先生、中尾先生、大変ありがとうございました。事後の研究協議でいただいたご意見の一部を紹介します。

【 11月10日(水) 3年3組 2校時 岡本先生 】

【ICT 活用のポイント】

- ・生徒作成のスライド
- ・フォームでの他者評価と自己評価



- ・生徒作成のスライド
⇒班ごとに惑星を担当し、資料を分析して解釈し、分かりやすく他者に伝える活動が展開されていた。
- ・フォームでの他者評価・自己評価
⇒生徒に提出させることで評価につなげるようになっていた。

<全体を通して>

- 班員で協働し、初めてのスライド作成とは思えないほど良くできていた。
- 地球と比較しながら考察する観点が与えられており、
- 本時のめあて「先生の代わりに授業をする」→どのように授業すればよいか（例 わかりやすく等）

示すことが必要

- 生徒が、比較したり探求したりと見方・考え方を働かせて活用できるような授業を意識していく

【 11月11日(水) 1年1組 2校時 中尾先生 】

【ICT 活用のポイント】

- ・パフォーマンス課題の確認
- ・スプレッドシートを利用し平均を求める



- ・パフォーマンス課題の確認
⇒三原市の地図を提示し、面積を求めるにはどうすればよいかを共有できた。
- ・スプレッドシートを利用し、平均を求める
⇒各班の面積の値を平均化することで、生徒に確認させることができる。

<全体を通して>

- パフォーマンス課題が生徒の興味を引くものであった。
- クギを使った導入が面白く、目の前で計って数値が出せることが展開の内容につながっていた。
- 導入の復習が「本数と重さ」なのに対して、パフォーマンス課題が「面積と重さ」だったので、比列を使えば良いと気づかせることに少し難しさがあったのではないかと。
- 比列の対応表を板書することで、低学力層への支援につながるのではないかと。
- 複雑な計算式に時間を取られるので、「比列を使うよさ」を気づかせることに重きを置く（主学態）なら計算（技能）はクロームブックの計算機能を活用する手段もある。



思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり

～ICT 機器の積極的な活用を通して～

【資質・能力：思考力・表現力・主体性・協調性】

R3.12.
第五中
研究係

No.3

研究授業の振り返り～第3弾～

12月は国語科で研究授業に取り組んでいただきました。授業された文字先生、大変ありがとうございました。事後の研究協議でいただいたご意見の一部を紹介します。

【 12月15日(水) 2年1組 3校時 文字先生 】

【ICT 活用のポイント】

- ①完成形をモニターに提示することで見通しを持たせる
- ②生徒が作成したスライドをもとにグループで発表
- ③スライドを色で区別し、生徒が文章を書く道筋を示す



①完成形をモニターに提示することで見通しを持たせる

- ⇒ 生徒が主体的に取り組める支援がされていた。
- ⇒ クロームブックの操作に時間がかかる生徒への個別の支援がきちんとされていた。

②生徒が作成したスライドをもとにグループで発表

- ⇒ 新しい入試制度を意識した指導を関連させて指導されていた。
- ⇒ 生徒が作成しやすいようにスライドの型がしっかり作られていた。

③スライドを色で区別し、生徒が文章を書く道筋を示す

- ⇒ 生徒が文章を作成しやすいように色分けを行い、記述に取り組む道筋がわかりやすくなっていた。
- ⇒ 他者のスライドと比較しながら文章を作成できるようになっていた。



<全体を通して>

- 並行読書の数値が低い現状を受けて、授業の中にその取組が入れられていた。
- 来年度の新しい入試制度を意識し、条件に沿って文章を書く指導がされていた。
- 生徒が作成するスライドの内容を交流し、深めるため、前時でジグソー活動を取り入れるなど、単元を意識した授業構成がされていた。
- ワークシートに生徒自身がチェックできるチェック欄が設けられており、生徒が見直しできる手立てが施されていた。
- 人の意見を追加して自分の意見をアップデートできたか
 - ⇒ 共通点を出させるなど（テキストマイニングの使用など）

問い、「走れメロス」の中で、勇者は誰だと考えるか。

あなたの考えを、次の条件にしたがって書きなさい。

条件1 あなたが考える、勇者の定義を明記すること。……………

条件2 「走れメロス」の中で、勇者は誰かについて意見をはっきり書くこと。……………

条件3 条件2の根拠として、「走れメロス」の本文の一部を引用すること。……………

条件4 自分の意見の根拠として、本と、名言や歌詞等の内容を含めること。……………

条件5 文のどこかに、予想される反論を加えること。……………

できたら
チェック!

思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり

～ICT 機器の積極的な活用を通して～

【資質・能力：思考力・表現力・主体性・協調性】

研究授業の振り返り～第4弾～

1月は保健体育科で、2月は社会科で研究授業に取り組んでいただきました。授業された舛金先生、森本先生、大変ありがとうございました。事後の研究協議でいただいたご意見の一部を紹介しします。先生方、1年間ありがとうございました。

【 1月17日(月) 1年1組 2校時 舛金先生 】

【ICT 活用のポイント】

- ①完成形をモニターに提示することでゴールイメージを持たせやすくする。
- ②実技を録画することで、自分の動きを確認し、その場で修正することができる。



- ①完成形をモニターに提示することでゴールイメージを持たせやすくする。

⇒ 生徒が主体的に取り組める支援がされていた。

- ②実技を録画することで、自分の動きを確認し、その場で修正することができる。

⇒ 動きを確認しやすく、生徒は改善点を考えやすい。

＜全体を通して＞

- 生徒が楽しそうに活動している。
- 正しく指摘することで生徒の人間関係が大きく向上する。
- 録画した映像を交流する場面の設定がもっとあるとよい。



【 2月10日(木) 1年1組 2校時 森本先生 】

【ICT 活用のポイント】

- ①パフォーマンス課題をモニターに提示することでゴールイメージを持たせやすくする。
- ②資料やグラフをスライドで配布することで、数値を手元で読み取りやすくする。
- ③ジャムボードを使って自分の考えを表現し、授業ごとの意見の変化を積み重ねることができる。

- ①パフォーマンス課題をモニターに提示することでゴールイメージを持たせやすくする。

⇒ 自分の役割分担が確認できてよい。

- ②資料やグラフをスライドで配布することで、数値を手元で読み取りやすくする。

⇒ クロームブックで資料の読み取りをスムーズに行うことができる。

- ③ジャムボードを使って自分の考えを表現し、授業ごとの意見の変化を積み重ねることができる。

⇒ 思考の流れを全体で把握することができる。

- グラフの読み取る時に、着目する視点として品目と総額に「単位」も加えると生徒がグラフを読み取りやすくなる。